

静嘉堂文庫美術館 2021年 年間スケジュール

江戸のエナジー 風俗画と浮世絵

2020年12月19日(土)～2021年2月7日(日) 休館日:毎週月曜日、年末年始12月28日～1月4日は休館、
ただし1月11日(月祝)は開館、12日(火)は休館

江戸時代(17世紀)になると、戦国の世が終わり、現世を楽しく生きようという考えが芽生えます。庶民の日常は画題となり、それは絵画の表現の幅を広げ、様々な絵師が多彩な活動をはじめます。本展では重要文化財「四条河原遊楽図屏風」や菱川師宣「十二月風俗図巻」に加え、明治末年以来、岩崎家や静嘉堂で秘蔵された肉筆浮世絵、版画を多数初公開します。2020年4月開幕予定でしたが会期変更開催の運びとなりました。疫病をも打ち払う江戸時代人のエナジーをご堪能ください。



英一蝶「朝暁曳馬図」江戸時代(17世紀)



重要文化財「四条河原遊楽図屏風」江戸時代(17世紀)



歌川豊広「見立蝦蟇鉄拐図」江戸時代(19世紀)
『浮世絵派画集』審美書院(明治40年)掲載
展覧会初公開!

岩崎家のお雛さま

2021年2月20日(土)～3月28日(日) 休館日:毎週月曜日

三菱第四代社長・岩崎小彌太(1879～1945)が孝子夫人のために誂え贈った丸平大木人形店の雛人形。白くつややかな丸い顔が愛らしい、幼児の姿に作られた内裏雛に是非会いに来てください。梅が花開く時節、小彌太が描いた「紅梅図」など、春を愛でる絵画・工芸品なども合わせて展示します。春爛漫の本展は、岡本でのセカンドラスト(最後から2番目)の展覧会です。



国宝
「曜変天目」
出品決定!
南宋時代(12～13世紀)



五世大木平藏製「岩崎家雛人形」のうち内裏雛
昭和時代初期(20世紀)



重要文化財 野々村仁清
「色絵吉野山図茶壺」江戸時代(17世紀)



岩崎小彌太「紅梅図」昭和時代(20世紀)

〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1 TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00～16:30(入館は16:00まで)

入館料: 一般1,000円、大高生700円 中学生以下無料

<http://www.seikado.or.jp>

堂 嘉 静

静嘉堂文庫美術館

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

岡本最後の展覧会!

旅立ちの美術

2021年4月10日(土)～6月6日(日)

休館日：毎週月曜日
(ただし5月3日は開館)、5月6日(木)

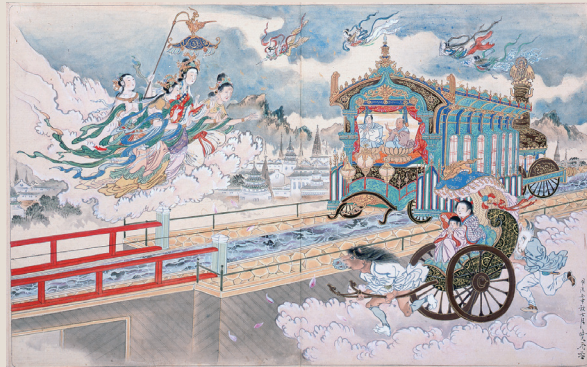
静嘉堂は2022年、展示ギャラリーを丸の内の明治生命館へ移転します。本展は岡本で開催する最後の展覧会となります。1892年、神田駿河台に創設された静嘉堂は、高輪、そして現在の岡本へと移転し、1977年より所蔵する美術品の一般公開を行なってまいりました。本展では旅立ちをテーマに、出会いと別れ、そして人びとが目指した理想の地のイメージをさぐりつつ、静嘉堂のあゆみを振り返ります。



国宝
「曜変天目」
出品予定
南宋時代(12～13世紀)



長次郎「黒樂茶碗 紙屋黒」
桃山時代(16世紀)



河鍋暁斎「地獄極楽めぐり図」
明治2～5年(1869～72)



重要美術品 陳賢「老子過関図」
明～清時代(17世紀)

三菱創業150周年記念 三菱の至宝展

2021年6月30日(水)～9月12日(日)

主催：三菱一号館美術館[三菱地所(株)]、
(公財)静嘉堂、(公財)東洋文庫
特別協力：(公財)三菱経済研究所

三菱を創業し、4代にわたり社長をつとめた岩崎彌太郎、彌之助、久彌、小彌太の芸術文化の研究・発展を通じた社会貢献の歴史をたどりつつ、静嘉堂、東洋文庫の所蔵する国宝12点、重要文化財31点を含む美術工芸品、古典籍などに三菱経済研究所の所蔵作品をあわせて、貴重な作品群100点余りを展覧します。

※本展は、2020年7月に予定されていた展覧会が延期されて開催されるものです



国宝
「曜変天目(稲葉天目)」
建窯
南宋時代(12～13世紀)
(公財)静嘉堂所蔵

【三菱の至宝展・お問い合わせ先】

広報事務局(株式会社OHANA内)担当:妹尾(せのお)、高橋、細川
〒102-0074 千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル5F
TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 E-mail:mimt-pr@ohanapr.co.jp

静嘉堂文庫美術館の移転について

公益財団法人静嘉堂は、開館30周年を迎える2022年(令和4)に、東京丸の内の明治生命館1階に美術館の展示ギャラリーを移転する予定です。移転先の明治生命館は、1934年(昭和9)竣工。ネオルネサンス古典主義様式を採り入れ、昭和の建築物では初めて国の重要文化財に指定されたもので、皇居お濠端の日本を代表する歴史的建造物の中で静嘉堂の名品(国宝7件、重要文化財84件を含む)をご覧頂けるようになります。

※移転施設は美術館の展示ギャラリーのみであり、美術品の保管管理・研究閲覧業務、並びに静嘉堂文庫(書庫)、敷地・庭園の管理業務は、現在の世田谷区岡本にて継続して行って参ります。



明治生命館